

読書活動推進NEWS

前回の「NEWS」で、調査の結果「昨年度の県内小・中学生の1か月間の読書量が過去最多だったことがわかりました」とお伝えしましたが、今年度に入ってからのお子さんの読書量に変化はあったでしょうか？

「あづま号がやってきた!」～只見町立明和小学校～

今回は、只見町を訪れた福島県立図書館の「移動図書館あづま号」取材しました。



オープンを待ちわびる子供たち



「歴史系!」「小説!」「実験系!」それぞれ一途にお目当ての本を探します



教室に戻るまで待てずに座り読み



あづま号デビューの1年生も夢中



帰りはみんな両手がいっぱい



先生方も真剣なまなざしで選定
学校図書館用(6年生の中には、学校の図書室の本をすべて読んでしまった強者もいるそうです)



閉店後、バスの中に本を収納し、あづま号は次の目的地へ向かいました



福島県立図書館司書の高橋さんと佐藤さんは、毎回3000冊の本を積んで只見町を訪れます。「只見町の子供たちはたくさん利用してくれて、それぞれの小学校で400冊くらい貸し出します。先生方の関わりが、本好きな子を育てていると感じます。」と高橋さん。子供たちのたくさんの笑顔は、2人の「福島県のすみずみまで本を届けたい」という思いに支えられています。